

今すぐ使える

マナーアップアドバイス



## 「<sup>き</sup>訊く」ということ

今月は、「<sup>き</sup>きく力」を高めるために必要な「<sup>き</sup>訊き方（尋ね方）」のポイントをお話いたします。

相手に質問する際は、次の二種類の質問話法を使い分けましょう。一つめは、相手が「はい」「いいえ」で答えられる「クローズドクエスチョン」です。これにより、事実確認を行うことができ、行き違いを防ぐことができます。

二つめは、「どうして」「どのように」など、答えが限定されず、話し手が自由に答えられる「オープンクエスチョン」です。これにより、相手が考えや気持ちを話すことができるので、話を展開させる効果が期待されます。

「相づち」を打ち、相手の話を理解しながら聴くことも大切ですが、「訊く＝質問する力」を磨き、ワンランク上の「聴き上手」をめざしましょう。